

★設置のポイント

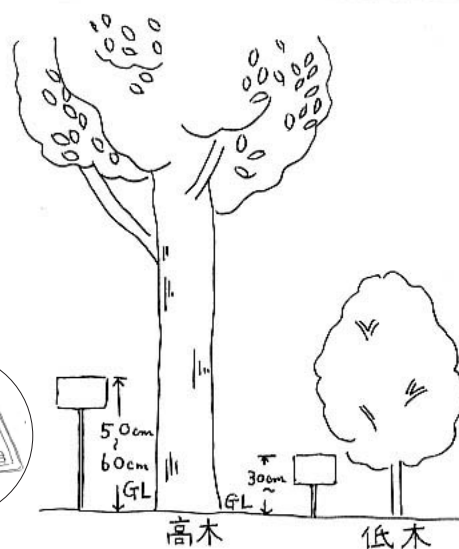
「樹名札」を設置する目的は、植物の名前を知ること、植物に興味を持ち、親しんでもらうことにあります。そこで、設置にちょっとした配慮をすると、より効果的になります。

- ① 植物の観賞や観察、写真撮影などの邪魔にならないように設置します。
- ② すべての人が樹名札を見たいとは限らないことを考慮して設置します。
(樹名札を“黒子”と考え、樹名札ばかりが目立つ設置を避ける)
- ③ 設置する環境との“なじみ”を考慮して、数量や設置位置、間隔を決めます。



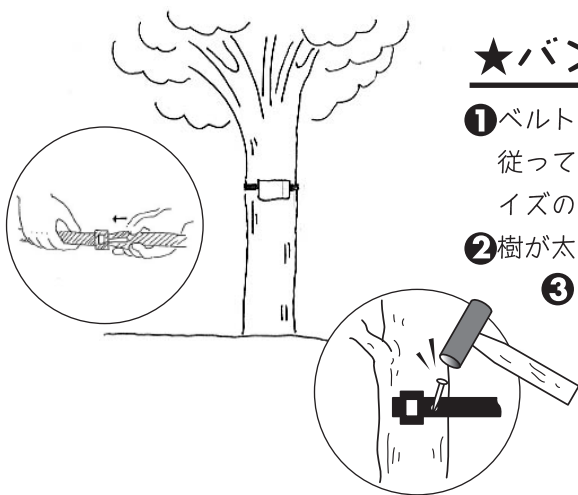
★スタンド式

- ① もっとも基本的な樹名札の設置方法です。
樹名札が、支柱の先に傾いてついています。設置位置が高すぎるとかえって見にくくなり、設置場所の景観を損ねますので、高木で地面からの高さを50～60cmにします。低木や花壇の場合は、それらの高さにあわせて低く設置します。
- ② 植物の真正面への設置は避け、観賞を妨げないようにします。



★バンド式 (1本から販売しております)

- ① ベルトを使って樹木に直接設置する方法です。ベルトは幹の生長に従って広がります。ベルトは、それぞれの樹木の幹周りに合ったサイズのものを使用します。
- ② 樹が太く1本で足りない場合は、ベルト同士を繋げて設置します。
- ③ 幹が細く、ベルトが落ちてしまう場合は、ベルトの穴に釘を打ってベルトを固定してから回します。



★スプリングを使用する場合

- ① スプリングを使って樹木に直接設置する方法です。
- ② スプリングはベルトの小さな穴にリングを通し、ベルトを樹名板の裏面に通します。幹を一周したらベルトの反対側の小さな穴にリングを通して回します。
- ③ 樹が太くスプリングが1本で足りない場合は、スプリング同士をS管でつなぎます。

